



三原神明市

山陽路に春の到来を告げる

7日(金)～9日(日)までの3日間、三原神明市が開催されます。JR三原駅北側一帯にだるま市や植木市など約500の露店が並び、周辺でもさまざまな関連イベントが行われます。400年以上の歴史がある春祭りとして、期間中は約30万人の人流でにぎわいます。

三原神明市の由来

室町時代末期、伊勢神宮をまつる「神明祭」が全国に広まりました。当時、三原は港町として栄え、9つの住民組織が寄り合っこの祭りを始めたことが神明市の起源とされています。三原城を築いた小早川隆景も神明市を大切に守り、繰り出す人出のようすでその年の吉凶を判断したといわれています。



2 7 金
8 土
9 日



▲三原神明市協賛会の皆さんにより神明大だるまが披露されました

だるま面相書体験

とき 8日(土)・9日(日) 10時～15時
ところ うきしろロビー(ＪＲ三原駅構内)
定員 各50人(先着順)
参加費 500円
問い合わせ先 三原観光協会(☎0848・63・1481)



バスの運行経路を変更

深町中之町・如水館・深町方面と福地線(糸崎・木原方面)は、7日(金)の始発から9日(日)の終便まで、運行経路の一部を変更します。

問い合わせ先 芸陽バス(☎0848・62・6241)、中国バス(☎0848・48・2211)、軀鉄道(☎0848・85・0315)

自転車は駐輪場へ

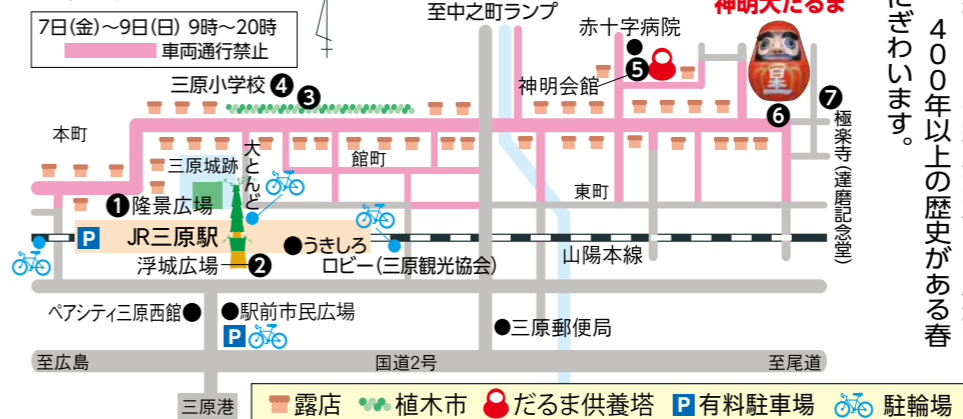
期間中、ＪＲ三原駅や駅周辺の道路は大変混雑します。歩道に放置された自転車などは通行の妨げになりますので、駐輪場を利用してください。

※放置禁止区域に30分以上、駐輪場に7日間以上放置してある自転車やバイクは撤去しています。

問い合わせ先 土木管理課(☎0848・67・6094)

文化観光課
☎0848・67・6014

案内図



主な催し

| とき | 内容 | ところ |
|-------------|---------|------------|
| 5日(水) | 8時30分～ | 神明大だるまの設置 |
| 7日(金)～9日(日) | 9時～20時 | 植木市 |
| | 9時～17時 | 達磨記念堂の一般公開 |
| | 9時～20時 | だるま供養塔 |
| 8日(土) | 11時～16時 | 奉納神楽 |
| | 9時～15時 | 少年剣道競技大会 |
| 9日(日) | 13時～16時 | カラオケ大会 |

※()内の番号は案内図の番号です。時間は変更になる場合があります。



期間中に限定商品販売します。

- 限定だるま焼印入り 瀬戸内レモンあんぱん 120円
とき 7日(金)～9日(日)
 - 三原漁師直伝 かに汁 100円
とき 9日(日)9時～
- ※いずれも数に限りがあります。
問い合わせ先 道の駅「みはら神明の里」(☎0848・63・8585)



ふわふわだるまミハラッキー

三原の新しいシンボルが神明市にも登場します。思い切り飛んで、楽しく跳ねて、元気な子どもにも福来たる。

とき 8日(土)・9日(日) 10時～17時
ところ 三原駅前市民広場
参加費 300円
※雨天の場合、中止することがあります。
問い合わせ先 文化観光課(☎0848・67・6015)

